

絵と絵本と医療と災害の持ち寄りパーティ

(ぽっとらっく)へのご招待!



皆で安全・安心を描こう! 安全・安心な社会を語ろう!

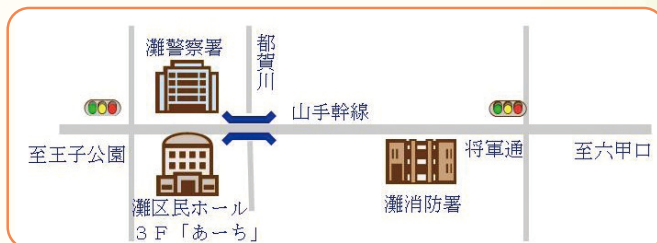
日時

2018年3月17日(土)
(13:00-16:00)

場所

灘区民ホール

〒657-0832 兵庫県神戸市灘区岸地通1丁目1-1
Tel: 078-802-8555



メッセージ

皆様を多様な表現方法を用いた持ち寄り(ぽっとらっく)パーティへご招待いたします。このパーティは違った専門領域の人々をつなぐ新しい災害コミュニケーション法の開発にもつながります。

世界各地で大きな災害の発生が伝えられています。どうすれば大人も子どもも安心できる社会を創れるのでしょうか?物理的な「安全」とちがって、抽象的な「安心」は必ずしも言葉で表現できません。今回は、アート(絵画)を通して、「安心」を皆で表現したいと思います。パステルを使って皆の気持ちを描き、笑ったり、しゃべったり、楽しんだりしながら、ひとつの作品を作ります。

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町からのゲスト、災害ボランティア活動の経験を持つ方々、子どもの権利を考えている小学生、などをお招きして、写真を見たり、長い布と一緒に絵を描いたり、布に描かれた絵を鑑賞したり、お話ししたりします。異なった年代、専門、地域の人々が集い、皆で「安心」を考えたいと思います。



プログラム

12:30 受付開始

13:00 あいさつ

13:05 紙芝居 「ポーポキ、安心ってなに?」

Ronni Alexander 先生 (神戸大学大学院)

13:15 皆でお絵描きをしましょう!~安心を表現する~

勅使河原 君江 先生 (神戸大学大学院)

お話し (コーディネーター 高田 哲 先生 神戸大学大学院)

東日本大震災から考える安全安心

・3/11の津波襲来時の我が家の対応とその後について
道又 衛 先生 (道又内科小児科医院 院長・岩手県大槌町)

・震災後を撮り続けている理由・写真を通しての安全安心
伊藤 陽子 さん (アマチュア写真家 岩手県大槌町)

子どもも大人も、みんなで作る安全安心

林 香里 さん (大阪市立金塚小学校5年・子どもの権利条約関西ネットワーク 子ども会議メンバー)
大江 浩 さん (日本YMCA同盟 法人事務局長)
有山 智 さん (大阪市立長谷川小学校教諭)



託児の受付

・託児は先着20名様まで受け付けます。
・お問い合わせ先 神戸大学大学院保健学研究科 地域連携センター
Fax:(078)796-4515 e-mail: renkei_4523@yahoo.co.jp

主催

アート・災害・安心研究会 (神戸大学社会システムイノベーションセンター)、
神戸大学大学院保健学研究科地域連携センター、神戸大学男女共同参画推進室

